

第 23 回奈良公園植栽計画検討委員会 議事録

日 時 : 令和 6 年 1 月 31 日 (水) 14 時 00 分～16 時 00 分
場 所 : 春日野国際フォーラム 豊別館 会議室 5
出席者 : 委員長 尼崎博正
委 員 井原縁、木南正美、田代佳子、増田昇
事務局 奈良県地域デザイン推進局 奈良公園室
関係部局 《地元関係者》春日大社、興福寺、東大寺、奈良国立博物館
《奈良県》地域デザイン推進局 奈良公園事務所
水循環・森林・景観環境部 環境政策課
文化・教育・くらし創造部 文化財保存課
《奈良市》教育委員会 文化財課

1. 茶山園地サクラ類根頭がんしゅ病に関する調査について

●サクラ類の生育不良について

- ・がんしゅとサクラ類の生育不良の関係が分からないため、病理学的な見地からモニタリングをすることも大事だが、樹勢回復を図ることも並行して行う必要がある。
- ・がんしゅ症状について、疫学的な視点で文献を調べてはどうか。

●植栽計画について

- ・根頭がんしゅ病が発生していないことをふまえ、樹勢回復方法を植栽計画に反映する必要がある。

2. 若草山ナンキンハゼ調査報告について

●検討の進め方について

- ・データは充実しているので、今までのまとめを練り直し、現況を知る上で足りないものは追加調査をしていただきたい。
- ・場所ごとの戦略を導き出すように進めていくべきではないか。

●対策の考え方について

- ・植生同士で競合させて抑制していくのが本来の姿である。
- ・完全な駆除を目指すより、ナンキンハゼが存在してはならない部分と、そうでない部分のメリハリをつけていくように考え方を転換せざるを得ないのではないか。

●ナンキンハゼの安全性について

- ・管理の現場で発生しているかぶれ等の症状について、データを集め、調査研究を調べたほうがよい。
- ・材としての再利用についても、安全性を確認した方がよい。